


報道機関各位

令和元年（2019年）11月19日（火）10時00分 配付

項目	オホーツク畜産GAPセミナーの開催について
配付資料	開催要領、PRチラシ・申込書
内容及び報道に当たってのお願い	<p>1 趣旨 畜産分野におけるGAP（農業生産工程管理）は、食品安全、環境保全、労働安全、家畜の衛生、アニマルウェルフェアに関する法令等を遵守するための点検項目を定め、生産工程の管理や改善を行う取組みです。このたび、畜産GAPの現状や取組内容について理解を深めるセミナーを開催することとしました。</p> <p>つきましては、<u>本セミナーの周知</u>及び<u>当日の取材</u>について、よろしくお願ひします。</p> <p>2 日時 令和元年（2019年）11月29日（金）13：00～15：15</p> <p>3 場所 北見市民会館 小ホール （北見市常盤町2丁目1-10 TEL 0157-23-6266）</p> <p>4 主催 オホーツク地域GAP導入推進会議（JA北海道中央会北見支所、ホクレン北見支所、オホーツク農協連、農政事務所北見地域拠点、網走農業改良普及センター、オホーツク総合振興局農務課）</p> <p>5 参集範囲 オホーツク管内農業者、市町村、農業協同組合、関係機関 等</p> <p>6 内容 ①「畜産GAPの現状と取組内容について ～より良い農場作りにどう活かす？～」 （JGAP審査員 白戸綾子 氏） ②「JGAP家畜・畜産物認証農場の取組事例」 （株式会社トップファーム 安永淳 氏） ③「労働安全は最優先で考えよう！ ～管内の畜産農作業事故の現状と対策～」 （網走農業改良普及センター 笠井千会 氏）</p> <p>7 申込先 北海道オホーツク総合振興局産業振興部農務課畜産係 電話0152-41-0665 FAX0152-44-0240</p>
他クラブとの関係	
担当窓口	<p>オホーツク総合振興局産業振興部 農務課長 矢花 修 直通電話 0152-41-0660 内 線 2700</p> 

## 令和元年度（2019年度）オホーツク畜産GAPセミナー 開催要領

### 1 目的

畜産分野におけるGAP（農業生産工程管理）は、食品安全、環境保全、労働安全、家畜の衛生、アニマルウェルフェアに関する法令等を遵守するための点検項目を定め、生産工程の管理や改善を行う取組みです。GAPを農業者や産地が取り入れることにより、農業経営の改善・効率化、持続的な農業経営の確保、競争力の強化につながるとともに、消費者や実需者の信頼を高めることが期待されます。

一方で、畜産GAPに取り組む意義や具体的な取組内容は、十分理解されていないのが現状です。そこで、畜産GAPについて理解を深めるセミナーを開催します。

### 2 開催時期

令和元年（2019年）11月29日（金） 13:00～15:15（受付 12:30～）

### 3 場所

北見市民会館 小ホール（北見市常盤町2丁目1-10）

### 4 主催

オホーツク地域GAP導入推進会議（事務局：オホーツク総合振興局農務課）

### 5 参集範囲

生産者、市町村、農業協同組合等 50名程度

### 6 参加費

無料

### 7 セミナーの内容

- ・「畜産GAPの現状と取組内容について～より良い農場作りにどう活かす？～」  
（JGAP審査員 白戸綾子 氏）
- ・「JGAP家畜・畜産物認証農場の取組事例」  
（株式会社トップファーム 執行役員 総務部長 安永淳 氏）
- ・「労働安全は最優先で考えよう！～管内の畜産農作業事故の現状と対策～」  
（網走農業改良普及センター遠軽支所 専門普及指導員 笠井千会 氏）

### 8 申込方法

別添「出席申込書」に必要事項を記入の上、FAX又はE-mailにて、オホーツク総合振興局産業振興部農務課までお申し込みください。

\*電話での申込は受け付けておりません。

申込期限：令和元年（2019年）11月15日（金）

FAX：0152-44-0240

電子メール：aoki.gouhei@pref.hokkaido.lg.jp

### 9 問い合わせ先

オホーツク総合振興局産業振興部農務課畜産係（担当：青木）

TEL:0152-41-0665

# 令和元年度（2019年度） オホーツク畜産GAPセミナー

畜産分野におけるGAP（農業生産工程管理）は、食品安全、環境保全、労働安全、家畜の衛生、アニマルウェルフェアに関する法令等を遵守するための点検項目を定め、生産工程の管理や改善を行う取組みです。このたび、畜産GAPの現状や取組内容について理解を深めるセミナーを開催します。

- 日 時：令和元年（2019）年11月29日（金）13時00分～15時15分
- 場 所：北見市民会館 小ホール（北見市常盤町2丁目1-10）
- 対象者：農業者、JA、自治体等（50名程度）
- 参加費：無料
- 主 催：オホーツク地域GAP導入推進会議

（構成機関：北海道農政事務所北見地域拠点、JA北海道中央会北見支所、ホクレン北見支所、オホーツク農協連、網走農業改良普及センター、オホーツク総合振興局産業振興部農務課（事務局））

## プログラム

（受付）12時30分～13時00分

- 開 会 13時00分
- 基調講演 「畜産GAPの現状と取組内容について～よりよい農場作りにどう活かす？～」  
13時10分～14時10分

講師 JGAP審査員 白戸 綾子 氏

帯広畜産大学畜産学部獣医学科卒業後、農林水産省に入省。独立行政法人家畜改良センター岩手牧場長、茨城牧場長を歴任され、平成30年に退職されました。現在、農場HACCP認証主任審査員、JGAP研修講師・審査員を全国各地で務められています。畜産分野におけるGAPの現状と具体的な取組内容について講演いただきます。

- 事例報告 「JGAP家畜・畜産物認証農場の取組事例」 14時10分～14時50分

発表者 佐呂間町（株）トップファーム 執行役員 総務部長 安永 淳 氏  
肉牛・生乳生産を行うトップファームグループは、グループ全体で約13,000頭を飼育する道内有数のメガファームです。平成24年に、肉用牛では国内第1号となる「農場HACCP」を取得し、平成29年にはJGAP家畜・畜産物を取得しました。GAP認証取得に至った経緯や取組の内容、今後の展望について発表していただきます。

- 情報提供 「労働安全は最優先で考えよう！～管内の畜産農作業事故の現状と対策～」 14時50分～15時10分

発表者 網走農業改良普及センター遠軽支所 専門普及指導員 笠井 千会 氏  
オホーツク管内では、家畜による農作業事故件数が過去10年から横ばいで推移しており、減少していない状況にあります。普及センターでは、昨年度から「家畜による事故原因の把握と安全対策」について調査研究として取り組んでおり、その内容についてご紹介します。

- 閉 会 15時15分

参加希望の方は、別紙「出席申込書」に必要事項を記入の上、お申し込みください。

令和元年度（2019年度）  
オホーツク畜産GAPセミナー出席報告書

【FAX・電子メールによる申込先】

オホーツク総合振興局産業振興部農務課畜産係 青木 宛  
FAX：0152-44-0240  
電子メール：aoki.gouhei@pref.hokkaido.lg.jp  
申込期限：令和元年（2019年）11月15日（金）

住所・所属団体等（必須）	
電話番号（必須）	（                      ）
FAX番号（任意）	（                      ）
メールアドレス（任意）	

部署・役職	
（ふりがな）	
氏 名	
部署・役職	
（ふりがな）	
氏 名	
部署・役職	
（ふりがな）	
氏 名	
部署・役職	
（ふりがな）	
氏 名	

※ご記入いただいた個人情報はセミナーの参加人数把握にのみ使用し適切に管理します。